

第8回「日本語疑問文の通時的・対照言
語学的研究」プロジェクト

20.December 2015 国立国語研究所

現代韓国語の疑問形式-kkaの成立 と文タイプ

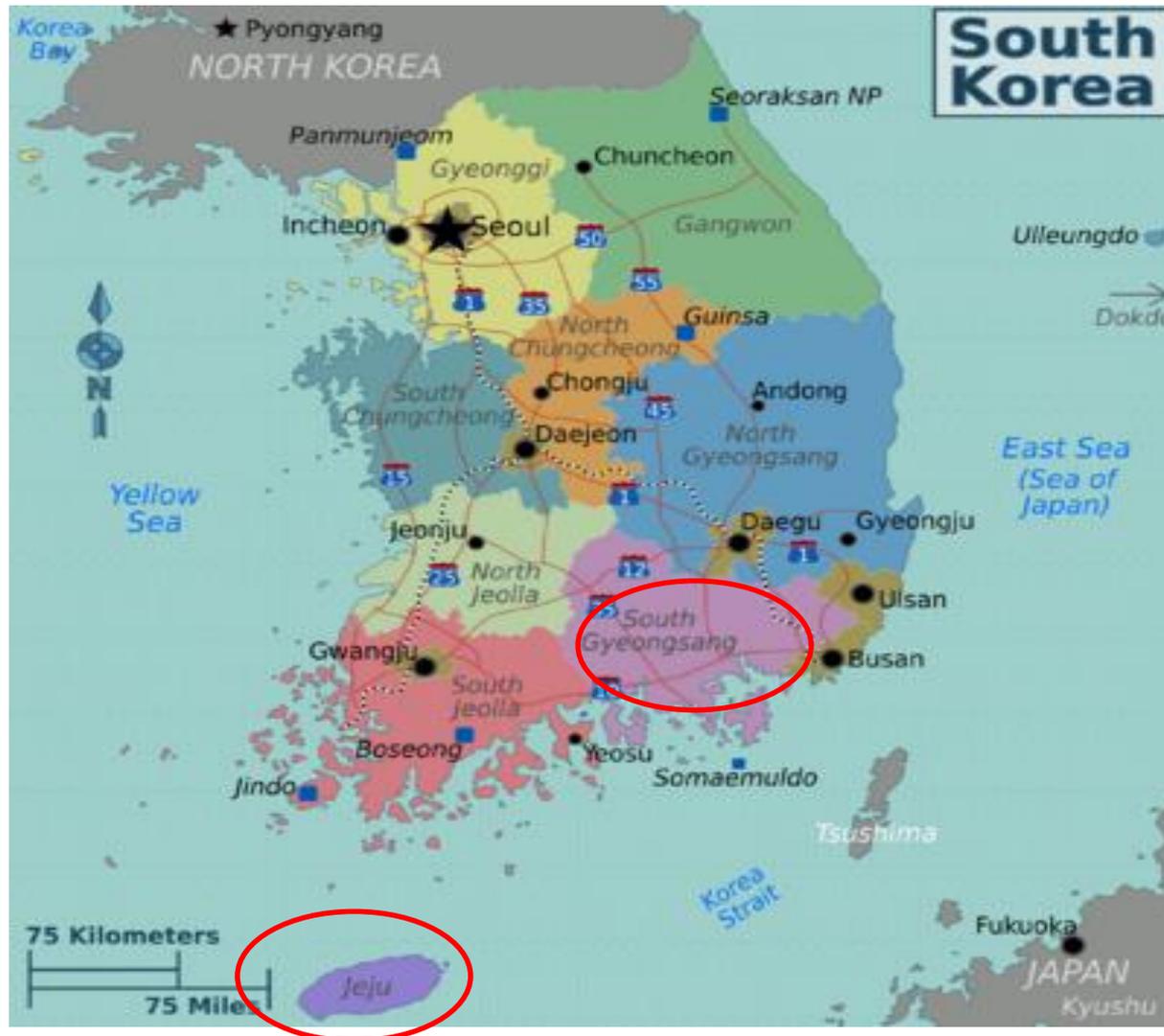
—慶南・済州方言を手掛かりに—

鄭 聖汝 CHUNG Sung-Yeo

大阪大学

chung@let.osaka-u.ac.jp

慶南方言と濟州方言の地理的位置



ここでとりあげる疑問文

- (専用の) 疑問形式を用いる疑問文
- 同形式が平叙文にも用いられる場合は、考察の対象から排除している

構成

1. はじめに—**歴史的変化とそのヴァリエーション**
2. 名詞文の疑問形式-ka/ko
3. 動詞文の疑問形式-nya/nyo
4. 丁寧体の疑問形式-supni=kka
5. 間接疑問の形式-nka/nko, -nti/-nci
6. 二種類の体言化辞-n,-s
7. まとめ

1. はじめに—歴史的変化とそのヴァリエーション

- (直接)疑問形式のヴァリエーション
- 現代韓国語の体系
- -ka>-kkaをめぐる二つの疑問
- 本発表での分析と提案

(直接)疑問形式のヴァリエーション: 非丁寧体の場合

<表1>

	中世語(15c-16c) 許(1975)、李(1982)、 高(2011)	慶南方言 徐(1987)	濟州方言 洪(1975)、鄭・金(2013)	現代韓国語 (標準語)
YN-Q	-ka/a -ni=a, -nya, (-li=a, -lya) -ni=ye, -nye, (-li=ye, -lye)	-ka -na	-ka, -kwa -ni/nya -sya	-ni/nya, -(nu)nya
WH-Q	-ko/o -ni=o, -nyo, (-li=o, -lyo)	-ko -no	-ko -ni/nya -sya	-ni/nya, -(nu)nya
2人称 疑問	-ntye, -nta , (-ltye, -lta)	—	-nti/ntia, -ntyā, -nta -mti/mtia, -mtyā (-lthi/lthia, -ithya, -lta)	—

a) YN-Qはa系、WH-Qはo系と一致を見せる(中世語、慶尚方言・濟州方言)。

b) 現代韓国語では、YN-QとWH-Qの区別がなくなり、**a系に統一**している。

c) 現代韓国語ではK型(-ka, -ko)とN型(-nya, -nyo)の使い分がなくなり、
けがなくなり、**N型に一本化**している。

補足説明(I)

- d) **-ka, -ko**(K型)は、元々**名詞類に直接付く**疑問添辞(particles)であった。(李賢熙1982、高恩淑2011、他)
- e) **-n, -l, -m**は、起源的には「動名詞語尾」または「動名詞」であった。(李賢熙1982、高恩淑2011、南豊鉉1996,2000、他)
- f) 古代・中世語では流音-l、滑音-yの後にくる-ka, -koは**kが弱体化・脱落**する。(李基文1972、李丞宰1996,2002、他) ☆12c頃発生
- *-ni+ka →-ni+a, *-ni+ko →-ni+o
 - *hAnah(一つ)+i(COP)+ko(CONJ) →hAnah+i+o(一つであり)
 - *kay(晴れる)+ko(CONJ)→kay-o(晴れて)

(直接)疑問形式のヴァリエーション: 丁寧体の場合

<表2> ☆大文字は、現代語ではなくなった中世語文字の表記に用いる

	中世語(15c-16c) 許(1975)、李(1982)、 高(2011)	慶南方言 徐(1987)	濟州方言 洪(1975)、鄭・ 金(2013)	現代韓国語 (標準語)
YN-Q	(中)-nis=ka, (-lis=ka) (高)-ni-Is=ka (-li-Is=ka)	(高) -(si)pni=kke	(高) -(s)wu=(k)kwa -pney=kka	(高) -(su)pni=kka
WH-Q	(中)-nis=ko, (-lis=ko) (高)-ni-Is=ko, (-li-Is=ko)	(高) -(si)pni=kke	(高) -(s)wu=(k)kwa -pney=kka	(高) -(su)pni=kka
2人称 疑問	—	—	—	—

- 方言・標準語ともに YN-QとWH-Qの区別がなくなっている。
- 現代語の疑問形式-kkaは丁寧体-(su)pni-を用いる表現において成立している。
- 2人称疑問(-nta)には、丁寧表現がない。

補足説明(Ⅱ)

- d) 現代語の丁寧語-sup-は、中世語の謙讓語(客体尊敬)-sAlp-, sApからきている。
- e) 中世語の-I-, -Is-は、聞き手敬語を表す丁寧語であった(慶尚方言にはまだ残っている)。4節参照
- f) 近代語(17c-19c)になると、敬語体系に変化が起こり、-ni-Is=ka から現代語の-supni=kkaが成立した。

現代韓国語の体系

◆ 敬語レベルと疑問形式の選択

1) (-*(su)pni*)-*kka*: 丁寧体(下から上へ)

a. *ku-nun cikem kongpwu-ha-pni=kka?* (動詞述語文: YN-Q)

彼-TOP 今 勉強-する-POL=INT

彼は今勉強していますか？

b. *ku-nun cikum mwue ha-pni=kka?* (動詞述語文: WH-Q)

彼-TOP 今 何 する-POL=INT

彼は今何していますか？

2) (-*nu*)*nya*: 非丁寧体(下待:上から下へ)

a. *ecey kongpwu-ha.y-ss-nu=nya?* (動詞述語文: YN-Q)

昨日 勉強-する-PERF-PRE=INT

昨日勉強をしたのか(=しているのか)？

b. *ecey mwue ha.y-ss-nu=nya?* (動詞述語文: WH-Q)

昨日 何 する-PERF-PRE=INT

昨日何をしたのか(=しているのか)？

現代韓国語の体系

◆ 敬語レベルと疑問形式の選択

3) ni/nya: 非丁寧体(対等、下にも使える)

a. ne ecey kongpwu-ha.y-ss=**ni/nya**? (動詞述語文: YN-Q)

あなた 昨日 勉強-する-PST=INT あなた、昨日勉強したの？

b. ne ecey mwue ha.y-ss=**ni/nya**? (動詞述語文: WH-Q)

あなた 昨日 何 する-PST=INT あなた、昨日何したの？

4) 名詞述語文(コピュラ文)も同様 ⇒ 文タイプによる区別はない

a. ike mwusun chayk-**i-pni=kka**? (WH-Q; 丁寧)

これ 何の 本-COP-POL=INT これは何の本ですか？

b. *ike ni/nwukwu chayk-**i-nu=nya**? (YN-Q/WH-Q; 下待)

これ あなた/誰 本-COP-PRE=INT

(意図: これは{あなた/誰}の本なの?)

c. ike ni chayk-**i=ni/nya**? (YN-Q; 対等)

これ あなた 本-COP=INT これは君の本なの？

-ka>-kkaをめぐる二つの疑問

- -ka/koは元々名詞類に付く添辞だった。が、なぜ動詞類にも付くことができたか。

(1)名詞から動詞への使用拡張に関する問題

- 現代韓国語における-ka > -kkaへの成立は、どうして敬語表現を通じて行われるようになったか。

(2)-kkaの成立と敬語との関係に関する問題

-ka>-kkaをめぐる二つの疑問

- -ka/koは元々名詞類に付く添辞だった。が、なぜ動詞類にも付くことができたか。

(1)名詞から動詞への使用拡張に関する問題

「動名詞語尾」-n,-l,-mと関係があるか？

- 現代韓国語における-ka > -kkaへの成立は、どうして敬語表現を通じて行われるようになったか。

(2)-kkaの成立と敬語との関係に関する問題

疑問形式-kaの前にくる-sの正体は何か

本発表の分析と提案(I)

- (1)の問題について (表1:非丁寧体の場合)

-ka/koの前になる文タイプは名詞文的な構成でなければならない。従って、動詞類には、動詞ベースの体言化辞(nominalizer)の-n,-l,(-m)が導入される。

Shibatani(2014):スライド94参照

I [NP] + ka/ko

II * [V + ni/li_{NMLZ}]_{NP} + ka/ko (kの弱化が起こる)

⇒ [V + ni/li_{NMLZ}]_{NP} + a/o > V+nya/nyo, V+lya/lyo

本発表の分析と提案(Ⅱ)

• (2)の問題について (表2:丁寧体の場合)

中世語の丁寧語-Is-は[-I+-s]で分析できる。また、この場合の-sは尊敬の人物に用いられる属格の-sであり(安・李 1990)、基本的には名詞ベースの体言化辞(nominalizer)であると提案する。

<中世語>

[[[V+ni_{NMLZ}]_{NP} + (I)-s_{NMLZ}]_{NP} + ka] (V-ni-s=ka/V-ni-Is=ka)

<現代語>

[[[V+sup+ni_{NMLZ}]_{NP} -s_{NMLZ}]_{NP} + ka] (-ska > -kka)

本発表の分析と提案(Ⅲ)

【一般化】

疑問文の形成を歴史的な観点からみると、

疑問形式-ka/koの前にくる文タイプ
(埋め込み節)はすべて名詞句構造
である

2. 名詞文の疑問形式-ka/ko

—非丁寧体の場合—

- ・コピュラなし名詞文の場合
- ・コピュラあり名詞文の場合
- ・コピュラなし動名詞文の場合
- ・コピュラあり動名詞文の場合

コピュラなし名詞文の場合

中世語(15c) の-ka/ko

- (5) a. i-nAn sang=**ka** pel=**a** [蒙山 53]
これ-TOP 賞=INT 罰=INT (これは賞か罰か。)
- b. i esten kangmyeng=**ko**? [月釈 10:7]
これ どのような 光明=INT (これはどんな光明か。)
- c. kuti casik epteni musus coy=**o** [月釈 1:7]
あなた 子息 なかったが 何の 罪=INT
(あなたは子供がいなかったが、何の罪か。)

-l, -yの後でkが弱
化(李1973:23)

許雄(1975:367-370) 注釈は発表者

慶南方言の-ka/ko

- (6) a. ni-ka haksayng=**ka**?
あなた-NOM 学生=INT (君は学生か?)
- b. iki nwu os=**ko**?
これ.NOM 誰 服=INT (これは誰の服なの?)
- c. iki nwu pal=**ko**? ni pal=**ka**?
これ-NOM 誰の 足=INT あなた 足-INT
(これは誰の足なの? あなたの足なの?)

徐はコピュラが削除
されたものと見なす

徐(1987:21)

コピュラなし名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

(7) a. ike nu-ney mAl=**ka**?

これ あなた-PL 馬-INT

(これ、あなた達の馬か?)

b. ike nwukey-ney mAl=**ko**?

これ 誰.GEN-PL 馬-INT

(これ、誰の家の馬か?)

洪(1975: 58-59)

コンピュータなし名詞文の場合

標準語の場合

(8) a. ike-n ney pal={*ka/*ni/*nya}?

これ-TOP あなた.GEN 足=INT

(Lit. これはあなたの足か?)

b. ike-n nwukwu pal={*ko/*ka/*ni/*nya}?

これ-TOP 誰 足=INT

(Lit. これは誰の足か?)

☆そもそも「名詞＋疑問形式」は成立しない。

コンピュータあり名詞文の場合

中世語(15c)の-ka/ko

**[[NP + i_{cop}] + a/o] になるはず ⇒例が見当たらない。

- (9) a. ktuy esten salAm-i-n=ta (2人称疑問形式)
あなた どんな 人-COP-NMLZ=2.INT
(あなたはどんな人なのだ?) [月収 10:29]
- b. etemey i syewulh-i-n=ko (cf. 間接疑問形式)
どの辺 これ ソウル-COP-NMLZ-INT
(どの辺が都なのか(だろうか)?)
(何處是京華) [杜諺 15:50]
許雄(1975:498, 500)

コンピュータあり名詞文の場合

慶南方言の-ka/ko

(10) a. ni-ka haksayng-i=ka?

あなた-NOM 学生-COP=INT

(君は学生なの?)

b. iki nwu os-i=ko? ni os-i=ka?

これ.NOM 誰 服-COP=INT あなた 服-COP=INT

(これは誰の服? あなたの服なの?)

c. iki nwu pal-i=ko? ni pal-i=ka?

これ.NOM 誰 足-COP=INT あなた 足-COP=INT

(これは誰の足? あなたの足なの?)

コンピュータあり名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

(11) a. ike nu-ney mAl-i=ka/*ko?

これ あなた-PL 馬-COP=INT

(これ、あなた達の馬なの?)

b. ike nwukey-ney mAl-i=ko/ka?

これ 誰.GEN-PL 馬-COP=INT

(これ、誰の家の馬なの?)

☆-kaの拡張が見られる(WH-Qへ)

コンピュータあり名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

(12) a. ike nu-ney mAl-i=ka/nya?

これ あなた-PL 馬-COP=INT

(これ、あなた達の馬なの?)

b. ike nwukey-ney mAl-i=ko/ka/ni/nya?

これ 誰.GEN-PL 馬-COP=INT

(これ、誰の家の馬なの?)

☆N型も許される。**-a系**の拡張が見られる(WH-Qへ)

☆洪(1976)によると、-nyaはYN-Q、-niはWH-Q

☆鄭・金(2013)では、**-nyaの拡張(WH-Qへ)**が報告されている

コンピュータあり名詞文の場合

標準語の場合

(13) a. ike-n ney pal-i=??ka/*ko?

これ-TOP あなた.GEN 足=INT

(意図:これはあなたの足なの?)

b. ike-n nwukwu pal-i=??ko/*ka?

これ-TOP 誰 足=INT

(意図:これは誰の足なの?)

☆K型は成立しないか、標準語ではない

コンピュータあり名詞文の場合

標準語の場合

(14) a. ike-n ney pal-i=ni/nya?

これ-TOP あなた.GEN 足=INT

(これはあなたの足なの?)

b. ike-n nwukwu pal-i=ni/nya?

これ-TOP 誰 足=INT

(これは誰の足なの?)

☆N型だけ成立する。

☆-o系はそもそも成立しない。

コピュラなし動名詞文の場合

中世語(15c)の-ka/ko

- (15) i isy-um=ka i eps-om=ka
これ 有る-NMLZ=INT これ ない-NMLZ=INT
(これは有ることなのか、これは無いことなのか)
[金剛 3:39a]

高(2011: 316) 注釈は発表者

コンピュータなし動名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

(17) a. cain honchaman pap mek-(u)m=ka/*nya?
あの子.TOP 一人だけ ご飯 食べる=PRE.NMNL=INT
(あの子は一人でご飯を食べているの?)
cf. 洪(1975: 29)

b. cain mwusike mek-(u)m=ko/*ni?
あの子.TOP 何物 食べる-PRE.NMNL=INT
(あの子は何を食べているの?)

☆N型は成立しない。

コンピュータあり動名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

- (18) a. cikum pap mek-(u)m-i=ka/*ko?
今 ご飯 食べる-PRE.NMNL=INT
(今ご飯食べているの?)
- b. mwusike mek-(u)m-i=ko/ka?
何物 食べる-PRE.NMNL=INT
(何を食べているの?)
- 

☆-kaの拡張が見られる(WH-Qへ)。

コンピュータあり動名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

- (19) a. cikum pap mek-(u)m-i=ka/nya?
今 ご飯 食べる-PRE.NMNL=INT
(今ご飯食べているの?)
- b. mwusike mek-(u)m-i=ko/ni/nya?
何物 食べる-PRE.NMNL=INT
(何を食べているの?)

☆N型はすべて許容される。

コンピュータあり動名詞文の場合

濟州方言の-ka/ko

- (20) a. cikum pap mek-(u)m-i=ka/*ko/nya/*ni?
今 ご飯 食べる-PRE.NMNL=INT
(今ご飯食べているの?)
- b. mwusike mek-(u)m-i=ko/ka/ni/nya?
何物 食べる-PRE.NMNL=INT
(何を食べているの?)

☆-a系の拡張が見られる(WH-Qへ)。

ここまでのまとめ

• コピュラなし名詞疑問文

1) 中世韓国語・慶南方言・濟州方言

[[NP] + ka/ko] (-ka: YN-Q、-ko: WH-Q)

[[V-m_{NMLZ}]_{NP} + ka/ko] (-ka: YN-Q、-ko: WH-Q (*慶))

*[[NP] + nya/nyo] (N型) → 成立しない

2) 標準語

*[[NP] + ka/ko] (K型) → 成立しない

*[[NP] + nya/ni] (N型) → 成立しない

☆ -ka/koは名詞文の疑問形式である。

☆ コピュラなし名詞疑問文では、N型は成立しない。

ここまでのまとめ

• コピュラ疑問文

1) 中世語 (15c)

**[[NP + i_{cop}] + o/a]

→ 例が見当たらない

2) 慶南方言

[[NP + i_{COP}] + ka/ko] (-ka: YN-Q、-ko: WH-Q)

*[[NP + i_{COP}] + na/no]

→ 成立しない

3) 標準語

*[[NP + i_{COP}] + ka/ko]

→ 標準語ではない

[[NP + i_{COP}] + nya/ni]

→ -o系は不成立

ここまでのまとめ

- コピュラ疑問文

4) 濟州方言

[[NP + i_{COP}] + ka/ko] (-ka: YN-Q/WH-Q、-ko: WH-Q)

[[V-m_{NMLZ} + i_{COP}] + ka/ko] (-ka: YN-Q/WH-Q、-ko: WH-Q)

[[NP + i_{COP}] + nya/ni] (-nya: YN-Q/WH-Q、-ni: WH-Q)

[[V-m_{NMLZ} + i_{COP}] + nya/ni] (-nya: YN-Q/WH-Q、-ni: WH-Q)

→ N型も許される。

→ -a系の拡張(WH-Qへ)が見られる。

3. 動詞文の疑問形式-nya/nyo

—非丁寧体の場合—

- 中世語 (15c-16c)
- 慶南方言
- 濟州方言
- 標準語

中世語 (15c-16c)

- (21) a. ney tyohAn kolo is-nA=**nye**
あなた.NOM 良い 絹 ある-PRE=NMLZ.INT
(あなたは品質のよい絹を持っているのか)
(你有好綾子麼) [翻老 下:25a]
- b. tasi mwutno=la ney etule ka-nA=**nio** ...
再び問う-断定 あなた.NOM どこへ行く-PRE=NMLZ.INT
(再び聞くのだ。あなたはどこへ行くのか)
(重問子何之) [杜詩 8:6b-7a]

高 (2011:165, 170)

中世語(16c)

(22) a. syepangnim onAl ani wa-n-nA=**nya** ...

旦那様 今日 否定 来る-PERF-PRE=NMLZ.INT

(旦那様は今日来ていないのか?)

[順天 121]

b. ney myes peti wa-s-nA=**nyo** ...

あなた.NOM いくつ 友.NOM 来る-PERF-PRE=NMLZ.INT

encey o=**nyo**

いつ 来る-NMLZ.INT

(あなたは何人の友が来ているのか(来たのか)。...いつ来るのか)

(你有幾箇火伴...從幾時來到...) [翻老 下:5ab]

慶南方言

(23) a. ni pulsse pap mwuk-ess=**na**?

あなた すでに ご飯 食べる-PST=NMLZ.INT
(あなた、もうご飯食べたの?)

b. ni wuncey pap mwuk-ess=**no**?

あなた いつ ご飯 食べる-PST=NMLZ.INT
(あなた、いつご飯食べたの?)

濟州方言

(24) a. kai-n pelsse hAkkey ka-si=**nya**?
その子-TOP もう 学校.LOC 行く-PERF=NMLZ.INT
(あの子はもう学校に行ったのか?)

b. kai-n enecey hAkey ka-si=**ni/nya**?
その子-TOP いつ 学校.LOC 行く-PERF=NMLZ.INT
(あの子はいつ学校へ行ったのか?)

☆ -o系は無くなっている。

☆ -nyaから-aが落ちた-niがWH-Qに用いられる。

☆ -nyaの拡張(WH-Qへ)が見られる。

濟州方言(例外)

(25) a. kai-n enecey hAkey ka-si=a?
その子-TOP いつ 学校.LOC 行く-PERF=INT
(あの子はいつ学校へ行ったのか?) ⇒過去/完了

b. nun cikum hAkkey ka-ms-i=a?
あなた.TOP 今 学校.LOC 行く-PRE.NMLZ-COP=INT
(あなたは今学校に行くところなの?) ⇒現在

cf. ka-m-i=ka/ko

☆(25a)の例外的な成立は、(25b)からの類推か？

濟州方言(例外)

(26) a. kai-n enecey hAkey ka-si=a/ni/nya?
その子-TOP いつ 学校.LOC 行く-いる=INT
(あの子はいつ学校へ行ったのか?) ⇒過去/完了

b. nun cikum hAkkey ka-ms-i=a/nya?
あなた.TOP 今 学校.LOC 行く-PRE.NMLZ-COP=INT
(あなたは今学校に行くところなの?) ⇒現在

cf. ka-m-i=ka/ko/*nya

☆(25a)の例外的な成立は、(25b)からの類推か？

☆ N型も許される。

動詞疑問文のまとめ

- 1) どの言語でも、K型は成立しない。
- 2) どの言語でも、N型は成立する。つまり、**N型は動詞文の疑問形式**として成立している。
- 3) 慶南方言では、動詞文にも、-a系と-o系の対立がある。
- 4) 濟州方言では、動詞文には、-o系が無くなっている。
- 5) 標準語は、名詞文同様、-o系がない。
- 6) **-ni**は**-nya** (←[*ni+ka]> nia)から疑問形式**-a**が落ちたものと考えられる。
- 7) 濟州方言では、WH-Qにのみ**-ni**が許される。
- 8) 標準語では、-ni,-nyaはWH-Q/YN-Qの両方とも使えるが、**-ni**が**-nya**よりニュートラルな表現。

4. 丁寧体の疑問形式-(su)pni=kka

- ・中世語(15c)
- ・慶南方言
- ・濟州方言
- ・標準語

中世語(15c): コピュラ文(YN-Q)

(28) a. i kwukyengpep-i-Is=ka

これ 究竟法-COP-POL.NMLZ=INT

i hyanghA-si-ten to-i-Is=ka

これ 行う-HON-PST.連体形 道-COP-POL.NMLZ=INT

(これは究竟法なののでしょうか、これは(前から)行われていた道(理)なののでしょうか。)

[法華1:161b]

高(2011:317)

☆名詞に丁寧語-Isを用いると、コピュラ-iも共に現れる。

中世語(15c): コピュラ文(YN-Q)

b. sensim-i-ni-Is=ka

善心-COP-NMLZ-POL.NMLZ=INT

ani-(i)-Is=ka

不-COP-POL.NMLZ=INT

(善心なのでしょうか、そうでないでしょうか。)

[法華7:20-1]

許雄(1975:665)

☆コピュラ文では、-niは任意的(optional)

中世語(15c): コピュラ文(WH-Q)

- (29) a. Mayapwuin-i cicangposal-skuy tasi
摩耶夫人-NOM 地蔵菩薩-HON.DAT 再び
sAlBA-sy-a-tAy estyey ilhwumi
伺う-HON-CONJ どうして 名前.NOM
mwukanciok-i-Is=ko
無間地獄-COP-POL.NMLZ=INT
(摩耶夫人が地蔵菩薩に再びお伺いなさるその内
容とは; どうして名前が無間地獄なのでしょうか。)

[月釈21:41b]

高(2011:318)

中世語(15c): コピュラ文(WH-Q)

b. **ihainyen-ulo** silkyenphipwulkwukcangem-
以可因縁-で 悉見彼佛國莊嚴-

i-ni-Is=ko

COP-NMLZ-POL.NMLZ=INT

(**どのような理由で**悉見彼佛國莊嚴なののでしょうか?)

[法華1:66]

許雄(1975:664)

☆コピュラ文では、**-ni**は任意的(optional)

中世語(15c):動詞文(YN-Q)

(30) a. okcwu-i illyeni-tAlye mwulotAy
獄主-NOM 日蓮-DAT 尋ねる-CONJ
emanim-AI alapo-li-losa-ni-Is=ka

お母様-ACC 見分ける-FUT.NMLZ-詠嘆-NMLZ-
POL.NMLZ=INT

(獄主が日蓮に尋ねるその内容とは、お母様を見分けられますでしょうか?)

[月釈23:86b]
高(2011:193)

☆ コピュラ文を除くと、原則として-Isの前に-ni(/-li)がくる。
(許雄1975:495) …>動詞文では必須

☆ -Isのため、-kは弱化しない。→-nya/nyoにならない

中世語(15c) : 動詞文(WH-Q)

- b. ku pskuy taycwung.tulhi kakkak pwuthye.s=kuy
sAlBotAy **estyey** onAls-nalteleBon kesi samwun-
uy os nip-ko nunghi seycon=skuy yepay kongkyeng
hA-SAp-nA-**ni-Is=ko**
する-謙遜-PRE-NMLZ-POL.NMLZ=INT

(その時、大衆たちが各々仏陀に伺うその内容とは;
どうして今日...汚い者が沙門の服を着て良くも世尊
様に礼拝・恭敬を致しているのでしょうか。)

[月釈23:44a]

高(2011:189)

中世語(15c): コピュラ文(拡張?)

(31) ku stAli mwulotAy i eten
その 娘.NOM 尋ねる.CONJ これ どんな
stah-i-Is=ka

土地-COP-POL.NMLZ=INT

(その娘が尋ねるその内容とは; これはどんな土地
でしょうか?)

[月釈21:24b]

高(2011:317)

☆ WH-Qなのに、-a系が用いられている。

(濟州方言のコピュラ文でも-a系の拡張が見られた。)

中世語(15c): コピュラ文(拡張?)

(32) seycon-ha ... estyey ilhwumi

世尊-HON.呼称 どうして 名前.NOM

tungkakposal-i-ni-Is=ko

等覺菩薩-COP-NMLZ-POL.NMLZ=INT

(世尊様よ...どうして名前が等覺菩薩なののでしょうか?)

[楞嚴7:67b]

高(2011:317)

☆ コピュラ文の-niは任意的。

(濟州方言のコピュラ文にも、-N型(-nya,-ni)の拡張が見られた。(12)参照)

中世語(15c) : -ni-s=ka

(33) a. ...kutuy-s apanimi is-nA-ni-s=ka
..そなた-GEN お父様.NOM いる-PRE-NMLZ-POL.NMLZ=INT
(あなたのお父様はおいでですか?) [釈譜 6:14]

b. estyey pwuthye-y-la hA-nA-ni-s=ka
どうして 仏陀-COP-断定 する-PRE-NMLZ-POL.NMLZ=INT
(どうして仏陀である(と)言うのですか?) [釈譜 6:16]

許雄(1975: 666)

(34) na-nAn ka-nA-ta mal-s-to mot ta nilu-ko
私-TOP 行く-PRE-IND 言葉-s-も 不可能 すべて 告げる-CONJ
ka-nA-ni-s=ko [祭亡妹歌] 『三国遺史』(13c)
行く-PRE-NMLZ-POL.NMLZ
(「私は行く」(という)言葉も全部告げられず、(どうして?)
行くのですか。)

高(2011:76)

中世語(15c) : -ni-s=ka

李(1982:45)

- -ni-s=ka系: +尊待 一格式(+親密).....(中)
- -ni-Is=ka系: +尊待 +格式(-親密).....(高)

<表2>参照

補足1 -sは単独でも敬語標示の機能がある。

補足2 -sは平叙文には現れず、丁寧体の疑問文において見られる。

現代語の-supni=kkaの成立について

◆ 李 (1982: 89)

-sAp-nA-ni-s-ka



(-sAp-nAy-s-ka)



-sup-ni-kka

☆[-s + -ka]から硬音化が起き、-kkaになったことがわかる。

現代語の-supni=kkaの成立について

◆ 李 (1982: 89)

-sAp-nA-ni-s-ka



(-sAp-nAy-s-ka)



-sup-ni-kka

-I

☆[-s + -ka]から硬音化が起き、-kkaになったことがわかる。

慶南方言：コピュラ文

(35) a. iki seyngnim-i ssu-si-n
これ.NOM 先生-NOM 書く-HON-PST.NMLZ
cheyk-i-pni=kke?

本-COP-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT

(これは先生がお書きになった本ですか?)

b. Iki nwu cheyk-i-pni=kke?

これ.NOM 誰 本-COP-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT

(これは誰の本ですか?)

☆ 丁寧体の表現では、-o系が無くなっている。

☆ K型に統一され、硬音化現象も起きている。

慶南方言：動詞文

(36) a. inca pap mwuk-sipni-kke?

今 ご飯 食べる-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT

(今(やっと)ご飯を食べるのですか?)

b. otey ka-pni-kke?

どこへ 行く-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT

(どこへ行くのですか?)

濟州方言：コピュラ文

- (37) a. ike samchwun=ney mAl-i-wu=kwa/kkwa?
これ あなた=PL 馬-COP-POL=INT/(NMLZ.)INT
(これ、あなたの家の馬ですか?)
- b. ike nwukey=ney mAl-i-wu=kwa/kkwa?
これ 誰.GEN=PL 馬-COP-POL=INT/(NMLZ.)INT
(これ、誰の家の馬なの?)
- c. ike nwukey=ney mAl-i-pney=kka?
これ 誰.GEN=PL 馬-COP-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT
(これ、誰の家の馬なの?)

濟州方言：動詞文

- (38) a. kai-n pelsse hAkkey ka-s-wu=kwa/kkwa?
その子-TOP もう 学校.LOC 行く-PERF-POL=INT/(NMLZ.)INT
(あの子はもう学校へ行きましたか?)
- b. kai-n enecey hAkey ka-s-wu=kwa/kkwa?
その子-TOP いつ 学校.LOC 行く-PERF-POL=INT/(NMLZ.)INT
(あのはいつ学校へ行きましたか?)
- c. kai-n enecey hAkey ka-pney=kka?
その子-TOP いつ 学校.LOC 行く-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT
(あの子はいつ学校へ行きますか?)

標準語

(39) a. iken **nwukwu** chayk-**i-pni**=**kka**?

これ.TOP 誰 本-COP-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT

(これは誰の本ですか?)

b. cikum **mwues**-ul mek-**supni**=**kka**?

今 何-ACC 食べる-POL.NMLZ=(NMLZ.)INT

(今何を食べていますか?)

まとめ：直接疑問の場合

- 現代語の（直接）疑問形式 **-kka** は、丁寧体と共に起こる。
- 丁寧体の表現形式が **-(su)pni=kka** に変わると、どの言語も **-o** 系は消えている。
- **-kka** の成立は、歴史的にみると、丁寧体の表現形式に変化が起こり、**[-s+ka]** が一単位として認識され、硬音化が起こったことにより、成立したと見られる。

-ni-Is=ka > **sAp-ni-s=ka** > **(sup-ni=ska)** > **sup-ni=kka**

まとめ：直接疑問の場合

- 非丁寧体の場合、名詞文はK型 (-ka/-ko)を用いるのが基本(但し、標準語は例外)。
- 一方、動詞文はどの言語もN型が用いられる。
- コピュラ文は複雑で、名詞文より(K型)と動詞文より(N型)の選択性が見られる。(但し、標準語はN型のみ。)

5. 間接疑問の形式 -nka/nko, -nti,-nci

- 中世語 (15c)
- 慶南方言
- 濟州方言
- 標準語

中世語 (15c) :-nka/nko

(40) a. anpwu-nun pyenan-hA-si=**nka**
安否-TOP 便宜-する-HON=NMLZ.INT
ani-hA-si=**nka** hAnon mal-i=la
不-する-HON=NMLZ.INT 言う 言葉-COP=IND
(安否とはお元気でいらっしゃるかそうでないか(と)いう
言葉である。) [釈詳11:4a]

b. ...selo mwulotAy i ili **esten**
互い 聞く.CONJ この こと.NOM どのような
inyen-**i**-si=**nko** hAteni
因縁-COP-HON=NMLZ.INT して
(互いに尋ねるその内容とは; このことは**どんな理由で**
いらっしゃるのか(と)言って) [法華1: 120ab]
高(2011:272)

中世語 (15c) :-nka/nko

(41) a. cwungsayng-i muntut na=**nka** uysim-hA-ni=la
衆生-NOM ふと 私=NMLZ.INT 疑心-する-
NMLZ=IND [月釈14:17]

(衆生はふと自分なのか(と)疑うのである。)

b. **esten** inyen-ulo tuk-hA=**nko** uysim-hA-si-ni=la
どのような因縁-で 得-する=NMLZ.INT 疑心-する-
HON-NMLZ=IND [法華4: 56]

(**どんな理由**で得たのか(と)疑っていらっしゃるのである。)

許雄 (1975: 670-671)

中世語(15c):-nka/nko(拡張?)

- (42) **musum** mul-lo ptAy sisu-si-nA=**nka**
何 水-で 垢 洗う-HOR-PRE=NMLZ.INT
(何の水で汚れを洗われるのだろうか/のか)
[千江曲 上、ki 124]
許雄(1975: 503)

☆-nkaの拡張(WH-Qへ)が見られる。

☆意味は、**疑いと質問**の両方とも可能。(16c以降)

◆許(1975:503)は、**WH-Qに用いられた-nka**について「説明できない例外」として扱っている。

中世語(15c):-nka/nko

高恩淑(2011:72-73, 274)

- 中世韓国語では、主に**間接疑問**か**自問**に用いられた。そのため、丁寧体の実現にはほとんど関与しなかった。
- 中世後期になって、この形式が**直接疑問**にも使われるようになる。(それに伴い、-sAp, -siのような語尾(敬語)とも共起できるようになる。)
- **近代以降**は、文末の丁寧語-**yo**が形成されると、[-nka=yo(, -lkka=yo)]となり、-yoによる丁寧体を実現する。

慶南方言:コピュラ文の-nka/-nko

- (43) a. Chelswu-ka nay-poko iki nay cheyk-i=**nka**
チヨルス-NOM 私-DAT これが 私の 本-COP=NMLZ.INT
mwut-te=la.
聞く-回想.PST=IND
(チヨルスが私に、これが私の本か(どうか)聞いてた。)
- b. Yengi-ka nay-poko iki **nwu** cheyk-i=**nko/nka**
ヨンイ-NOM 私-DAT これが 誰 本-COP=NMLZ.INT
mwut-te=la.
聞く-回想.PST=IND
(ヨンイが私に、これは誰の本か(と)聞いてた。)
- 

☆この文に直接疑問形式-ka/koを用いると不自然。

慶南方言:動詞文の-nka/-nko

(44) a. Chelswu-ka nay-poko, nay-ka onel cip-ey
チヨルス-NOM 私-DAT 私-NOM 今日 家-LOC
ka-nu=**nka** mwut-te=la.
行く-PRE=NMLZ.INT 聞く-回想.PST=IND
(ヨンスが私に、私が今日家に帰るのか(どうか)聞いてた。)

b. Yengi-ka Chelswu-poko **otey** ka-nu=**nko/nka**
ヨンイ-NOM チヨルス-DAT どこへ 行く-PRE=NMLZ.INT
mwut-te=la.
聞く-回想.PST=IND
(ヨンイがチヨルスにどこへ行くのか(を)聞いてた。)
徐(1987:33)を若干修正

☆この文に直接疑問形式-na/noを用いることはできない。

慶南方言:コンピュータ文の-nka/-nko

(45) a. iki nay cheyk-i=nka? ✓ ↗
これ.NOM 私.GEN 本-COP=NMLZ.INT
(これは私の本なのだろうか。)

b. iki nwu cheyk-i=nko? ✓ ↗
これ.NOM 誰 本-COP=NMLZ.INT
(これは誰の本なのだろうか?)

☆直接疑問形式-ka/koとは文末イントネーションが異なる。

◆自問や疑いが一次的意味。質問の場合も、直接疑問文と比べて答えの要求度に差がある。

濟州方言：コンピュータの-nka/-nko

- (46) a. ike Changswu-ney mAl-i=nka?
これ チャンス-PL 馬-COP=NMLZ.INT
(これはチャンスたちの馬だろうか?)
- b. ike nwukey-ney mAl-i=nko?
これ 誰-PL 馬-COP=NMLZ.INT
(これは誰の家の馬だろうか?)

洪(1976: 183-184)

濟州方言：動詞文の-nka/-nko

(47) a. omeykittek ta mek-e-si=**nka**
オメギ餅 全部 食べる-CONJ-PERF=NMLZ.INT
mollu-khwu=ta.

知らない-推測.POL=IND

(オメギ餅全部食べたか(どうか)知りませんね。)

b. yosay ta-tul **mes-tul** mek-e-ms
最近 皆-PL 何-PL 食べる-CONJ-PRE.NMLZ
-i=nko mollu-khwu=ta.

-COP=NMLZ.INT 知らない-推測.POL=IND

(最近は皆**どんな物**を食べているか知らないですね。)

濟州方言：動詞文の-nka/-nko

- (48) peykkysti nwukey wa-si=nka? ✓
外.LOC 誰.NOM 来る-PERF=NMLZ.INT
- ①外に誰かが来たのかしら？
- ②外に誰か来たのか？

濟州方言 : -nti

(49) a. nomppi-n mek-e-si=**nti**-sa
大根-TOP 食べる-PERF=NMLZ.INT-強調
mollu-khwu=ta.

知らない-推測.POL=IND

(大根は食べたか(どうか)知らないです。)

b. isnaleyn **mwusike** mek-eng
昔.LOC.TOP 何物 食べる-CONJ
sal-a-si=**nti** mollu-khwu=ta.

生きる-PERF=NMLZ.INT 知らない-推測.POL=IND

(昔は何を食べて生きていたか、知らないですね。)

標準語：コピュラ文の-nci

- (50) a. iken tto **nwukwu** chayk-**i=nci**...
これ.TOP また 誰 本-COP=NMLZ.INT
(これはまた誰の本なんだろう?)
- b. ikey **nwukwu** chayk-**i=nci**(-lul)
これ.NOM 誰 本-COP=NMLZ.INT(-ACC)
molu-keyss=ta.
知らない-推測=IND
(これは誰の本なのか(を)知らない。)
- c. Yengi-ka na-eykey ikey nay
ヨンイ-NOM 私-DAT これ.NOM 私.GEN
chayk-**i=nci**(-lul) mwut-te=la.
本-COP=NMLZ.INT(-ACC) 尋ねる-回想.PST=IND
(ヨンイが私にこれは私の本なのか(どうか)聞いてた。)

標準語：動詞文の-nci

- (51) a. ku-nun cikum etise mwues-ul
彼-TOP 今 どこで 何-ACC
ha-ko-iss-nu=**nci**.
する-CONJ-いる-PRE=NMLZ.INT
(彼は今どこで何をしているのだろうか。)
- b. wuli ttal-un onul mwuel mek-ess-nu
私達 娘-TOP 今日 何.ACC 食べる-PERF-PRE
=**nci** molu-keyss=ta.
=NMLZ.INT 知らない-推測=IND
(うちの娘は今日何を食べたのか、(私は)知らない。)
- c. Yengi-ka na-eykey wuli ttal-i onul mwues-ul
ヨンイ-NOM 私-DAT うち 娘-NOM 今日 何-ACC
mek-ess-nu=**nci**(-lul) mwul-ess=ta.
食べる-PERF-PRE=NMLZ.INT(-ACC) 尋ねる-PST=IND
(ヨンイが私に、うちの娘が今日何を食べたか(を)聞いた。)

まとめ

- 間接疑問形式は、必ず**体言化辞-n**が要求され、その直後に疑問形式を付けて、構成される。
- 名詞文の場合は、**-n**の前に必ず**コピュラ**がくる。
- 標準語では、**-nci**が用いられる。(ciは、起源的には[tA+i] (形式名詞+助詞)で(許1975:289))、**-nti**> **-nci**へと変化したものと見られる。濟州方言には**-nti**が残っている。)
- 文末に用いられると一次的意味として**自問や疑い**の意味を帯びる。「**質問**」の場面に用いられた場合も**婉曲的・間接的**な意味は残る。

6. 二種類の体言化辞-n,-s

- ・動詞ベースの-nの二つの用法
- ・名詞ベースの-sの二つの用法
- ・二つの用法の理論的位置づけ

動詞ベースの-nの二つの用法

- 体言化辞-nの修飾用法(連体形)・・・現代語訳

- (53) a. kutay-ka ha-n kes-ul twuy ccocha-hamye
あなた-NOM する-NMLZ こと-ACC 後ろ 従って-して
(あなたがやったことを追従して行い、)
- b. phwungyolowum-un motu-n salam.tul-i(/uy)
豊かさ-TOP すべて-NMLZ 人.PL-NOM(/GEN)
pala-nu-n kes-i=ta.
望む-PRE-NMLZ こと-COP=IND
(豊かさはあらゆる人が(/の)望むものである)

名詞ベースの-sの二つの用法

• 体言化辞-sの名詞句用法

(55) a. nay chenlyang-ey-s kesi
私.GEN 千両-LOC-GEN.NMLZ 物.NOM
taA-l-s (< taA-l-H) epsu-ni
尽きる-FUT.NMLZ-NMLZ ない-NMLZ
(私の財物は尽きる**こと**がないの(である)) [法華 2:75]

b. nolay-lA-l nooyya sulphu-l-s (< sulpu-l-H)
歌-ACC 再び 悲しい-FUT.NMLZ-NMLZ
epsi pulu-nA-ni
なく 歌う-PRE-NMLZ
(歌を再び悲しむ**こと**なく歌うもの(である)) [杜諺 25:53]

Cho (2010: 51) 若干修正

名詞ベースの-sの二つの用法

- 体言化辞-sの名詞句用法(数詞)

	中世語	現代語	日本語	
(56)	a. hAnah	hana	ひとつ	
	b. twul	twul	ふたつ	
	c. sey	seys	みっつ	…sek tal(三か月)/se
	d. ney	neys	よっつ	…nek tal(四か月)/ne
	e. tatus	tases	いつつ	
	f. yesus	yeses	むっつ	
	g. nilkwup	ilkop	ななつ	
	h. yetul	yetel	やっつ	
	i. ahop	ahop	ここのつ	
	j. yel	yel	とお	
	k. Yele	yele	多く	…yelesi wassta(多くの人 came)

名詞ベースの-sの二つの用法

• 体言化辞-sの修飾用法(属格)

(57) a. ...senko-H ptut mot ilwu-si-ni
先考-GEN.NMLZ 意志 不可能 成す-HOR-NMLZ
(先代の遺志を成し得られなかったもの(である))

b. ...phyengsayng-k ptut mot ilwu-si-ni
平生-GEN.NMLZ 意志 不可能 成す-HOR-NMLZ
(一生の志を成し得られなかったもの(である))
[龍飛御天歌 第12章]

c. ...salAmp ptut-i-li-Is=ka
人-GEN.NMLZ 意志-COP-FUT.NMLZ-POL.NMLZ=INT
((...が、)人の意志であるものだろうか) [龍飛御天歌 第15章]
Cho (2010: 51, 55)

d. nala-s malssAm-i tyungkwuyk-ey tala [訓諺 1b]
国-GEN.NMLZ 言葉-NOM 中国-COMT 異なり
(国の言葉が中国と異なり、)

高・南 (2012: 29-30)

名詞ベースの-sの二つの用法

- 体言化辞-sの修飾用法(属格): 合成名詞を作る

(58) 現代語

- uypwusttal (義父の娘)
- pis^smwul (雨の水: 雨水)
- moki^spwul (蚊の火: 蚊取り線香)
- ecey^spam (昨日の夜) cf. onul^spam (今日の夜)

(59) 中世語

- pal^stung/pas^stung (足の甲) → paltung (発音: pal^ttung)
- Pal^spatang/pas^spatang (足の裏) → palpatak (発音: pal^ppatak)
- mul^skyel/mus^skyel (水の波) → mwulkyel (mwul^kkyel)
- mul^skoki/mul^kkoki (水の魚: 魚) → mwulkoki (mwul^kkoki)

中世語の例は、具(2000)を参照

- 中世韓国語における-sの異形態: 8種

☆B, H, Sは現代語では消滅した文字の表記

- (60) a. k, t (君n t 字、兄ng k ptuti: 兄の意志が)
- b. p, B (侵m p 字、斗 B 字)
- c. H (hanulH ptuti: 天の意志が)
- d. S, s (onAlS nalay、onAls nalay: 今日の日に)
- e. z (見n z 字)

◆8種の表記 → -sに単一化へ (「訓民正音解例本」)

Cho (2010:29-30)、安 (2002: 100-101)

名詞ベースの-sの二つの用法

- 体言化辞-sの修飾用法(属格)...尊敬(有情物)

(61) a. cyong-Ay seli-ye [杜初甘五, 7]
下僕-GEN 間-LOC (下僕の中に)

b. saAm-Ay ptut-ul ... [月釈一, 12]
人-GEN 意志-ACC (人の意向を)

(62) a. seycon-s il /seycon-s mal [月釈一, 1]
世尊-GEN.NMLZ 仕事/ 世尊-GEN.NMLZ 言葉
(世尊のお仕事/世尊のお言葉)

b. ...pwutye-s toli pAyho-SABA-li [釈詳序, 2]
仏陀-GEN.NMLZ 道理 習う-謙讓-FUT.NMLZ
(仏陀の道理をお習いすること(になる?))

安・李(1990:174)

名詞ベースの-sの二つの用法

- 体言化辞-sの修飾用法(属格)...尊敬与格-kkey

(63) a. *nay* *kuey*(<*key*>) > *naykey*
私.GEN *そこ* (私に)

b. *cwungsayng-Ay* *kuey*(<*key*>) > *cwung-eykey*
衆生.GEN *そこ* (衆生に)

c. *kyecip-uy* *kuey* (<*key*>) > *yeca-eykey*
女.GEN *そこに* (女に)

(64) a. *wang-s* *kuey*(<*key*>) > *wang-kkey*
王.GEN.NMLZ *そこ* (王に)

b. *pwutye-s* *kuy*(<*key*>) > *pwuche-kkey*
仏陀.GEN.NMLZ *そこ* (仏陀に)

c. *pwutye skuy* (< *kkey*>) (仏陀に) ...16c以降
仏陀 HOR.DAT

名詞ベースの-sの二つの用法

- 体言化辞-sの修飾用法(属格)...補文標識

(65) a. cyokomas pAy tha-kocye=s ptut-ul
小さい 船 乗る-意図=GEN.NMLZ 意志-ACC
nis-ti mot hA-li-lo=ta. [杜初 15-55]

繋ぐ 不可能 する-FUT.NMLZ-詠嘆=IND

(小さな船に乗ろうとする意志を叶えられないことだろう。)

河 (2010:159)

b. seycon-An seykey-ye mAs conhA-si-ta=s
世尊-TOP 世界-LOC 最も 尊ぶ-HOR-IND=GEN.MNL
ptut-i=la [釈詳序 5a]

意味-COP=IND

(世尊とは、世の中で最も尊敬されるという意味である。)

高・南 (2012: 75)

名詞ベースの-sの二つの用法

- -s, -nの機能的類似性

(66) 濟州方言:補文標識(引用節)

a. kai-to iti o-n-te-y-n hA-p-tey=ta.

その子も ここに 来る-PRE-IND-引用-NMLZ しました

(その子もこちらに来る、**と**言っていました/とのことでした。)

b. kain Changswu-ney atul-i-le-y-n hA-p-tey=ta.

その子は チャンス-PL 息子-COP-IND-引用-NMLZ しました

(その子はチャンスの息子だ、**と**言っていました/とのことでした。)

(67) 修辞疑問文(または感嘆文):後期中世語

a. -ntyē [-n+tA+iye] (NMLZ+形式名詞+COP.IND)

b. -ltyē, -lhtyē

c. -stye

鄭在永(1995: 257)

二つの用法の理論的位置づけ

• 従来の捉え方

南豊鉉(1996)

- > 高麗時代の口訣資料には、(n, lが) **動名詞語尾**としての多様な機能を保存している。(p.2)
- > 15世紀以降のハンゲル資料では、n, lが **動名詞語尾**としての機能をほとんど失い、**連体形語尾**(冠形形語尾)として主に用いられる。(p.2)
- > 高麗時代の動名詞形が**構造の変化によって**15世紀には連体形に発達であると説明するのが妥当。(p.17)

安・李(1990:148)

- > 名詞「石」の単独形は'tol'であったが、曲用(declension)するときには'tol**h**'として現れる。→**体言の曲用**
- > つまり、主格、対格、所格、道具格、共同格の前では'tol**h**'である。
- > しかし、休止と**属格-s**の前では、'-h'が現れず、'tol'になる。

二つの用法の理論的位置づけ

- Shibatani (2014)

体言化 (Nominalization)とは、

事態、事実、命題または結果物などの事態体言形式 (event nominalizations)、あるいは事態参加者 (argument nominalizations) などモノ的概念を換喩的に表示 (denote)する形式を作り出す文法作用 (grammatical process)



モノ的概念を表示する特性において名詞に準じていて、これによって名詞と類似した意味的統語的特性を持つ。名詞・体言化形式は両者ともモノ的概念の表示特性によって名詞句主部として指示機能を担ったり、名詞の従属要素として修飾機能を帯びる。

二つの用法の理論的位置づけ

- Shibatani (2014)

名詞の二大用法

構造 (Structure)

用法 (Use/Function)

名詞句用法 (NP-use) / 指示機能

[[Cotton]_N]_{NP} is a useful commodity.

[cotton]_N

修飾用法 (Modification-use) / 限定機能

[[cotton]_N]_{NP} [mills]_N_{NP} (複合語)

[[cotton]_N]_{NP} [shirts]_N_{NP} (名詞句)

二つの用法の理論的位置づけ

- Shibatani (2014)

名詞の二大用法

構造 (Structure)

用法 (Use/Function)

名詞句用法 (NP-use) / 指示機能

[[Cotton]_N]_{NP} is a useful commodity.

[[hanul]_N -h]_{NP-i-la} (天であり)

修飾用法 (Modification-use) / 限定機能

[[cotton]_N]_{NP} [mills]_N]_{NP} (複合語)

[[cotton]_N]_{NP} [shirts]_N]_{NP} (名詞句)

[[hanul]_N -h]_{NP} [ptut]_N]_{NP-ul} (天の意志を)

[cotton]_N

[hanul]_N (天)

まとめ・結語

- 韓国語の疑問文の構造は、現代語ではその痕跡が薄れているが、歴史的経緯をたどると、疑問形式-ka/koの前(左)にくる要素を体言化することによって形成された。
- そこには二種類の体言化辞が関与する。動詞ベースの-n(/-l)と名詞ベースの-sである。
- 前者は標準語の非丁寧体疑問文-ni, -nyaを、後者は丁寧体疑問文-supni=kkaをそれぞれ成立させている。

参考文献

- 高永根·南基心(2012)『中世語資料講解』集文堂.
- 高恩淑(2011)『国語疑問法語尾의 歴史的變遷』韓国文化社.
- 具本관(2000)「‘ㄷ’末音語基合成名詞의 形態論」『形態論』2-1: 17-41.
- 具本관(2001)「數詞와 數冠形詞의 形態論」『形態論』3-2: 265-284.
- 南廣祐編(1971/1994)『補訂古語辭典』一潮閣.
- 南豐鉉(1996)「高麗時代 稊讀口訣의 動名詞語尾 ‘ㄱㄴ’에 대한 考察」『国語學』28: 1-48.
- 南豐鉉(2000)『吏讀研究』太學社.
- 徐정목(1987)『国語 疑問文 研究—慶南方言과 中世語의 WH-현상을 중심으로』塔出版社.
- Shibatani Masayoshi (2014) Rethinking Relative Clauses. Seoul National University. October 27, 2014.
- 安培根(2002)「사이시옷의 表記 變遷」『国語文學』37: 84-111.
- 安秉禧(1965)「後期中世国語의 疑問文에 대하여」『學術誌』6. 建国大學.
- 安秉禧·李光鎬(1990)『中世国語文法論』學研社.
- 李基文(1972)『国語音韻史研究』塔出版社
- 李丞宰(1996)「‘ㄱ’弱화·脱落의 通時的 考察—南權熙本『』의 口訣資料를 中心으로」『国語學』28: 49-79.
- 李丞宰(2002)「口訣資料의 ‘ㄱ’弱화·脱落을 찾아서」『韓國文化』30: 1-30. 서울대학 규장각 한국학연구원.
- 李賢熙(1982)「国語의 疑問文에 대한 通時的 研究」『国語研究』52号: 1-113. ソウル: 国語研究会.
- 鄭承哲·金보향(2013)「濟州方言의 說明疑問과 判定疑問—語尾의 中和現象을 中心으로」『方言學』17: 79-103.
- 鄭在永(1995)「前期中世国語의 疑問法」『国語學』25: 221-265.
- Cho Gyutae (2011)『龍飛御天歌(改訂版)』韓国文化社.
- 河正秀(2010)「現代国語形態素{} 意味 機能」『語文研究』38-2: 141-167.
- 許雄(1975)『우리 옛말본—15世紀 国語形態論』샘文化社.
- 洪宗林(1975)「濟州島 方言의 疑問法에 관한 考察」『論文集』8: 150-226. 韓國国語教育研究会.
- 洪宗林(1976)「濟州島 方言의 先語末語尾 ‘-암/엄-, ‘-암시/엄시-, ‘-안/언-, ‘-아시/어시-’에 對하여, 『先淸語文』7: 459-474.